

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

高齢運転者の交通事故発生状況 令和6年8月末

1 高齢運転者事故の発生状況

令和6年8月末現在の高齢運転者（65歳以上の運転者）が第1当事者となった人身交通事故（一般原付以上）は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数ともに増加しています。
なお、死亡事故は7件7人で前年同数となっています。

【高齢運転者事故発生状況】

(令和6年8月末速報値)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	674	7	7	82	719	801
前年	633	7	7	63	696	759
増減	41	0	0	19	23	42
率	6.5	0.0	0.0	30.2	3.3	5.5

【高齢運転者死亡事故発生状況】

(令和6年8月末速報値)

No.	発生年月日等								第1当事者 (高齢運転者)		第2当事者					
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	事故類型	死亡	種別	高齢者	死亡	種別
1	6	1	2	17	火	夜	晴	角田市梶賀	市道	直線	人対四輪	-	軽乗	◎	◎	歩行者
2	6	3	19	14	火	昼	晴	気仙沼市本吉町	国道	直線	四輪対四輪	-	普乗	-	-	軽乗
3	6	5	22	20	水	夜	晴	白石市大卒都婆荻窪尻	国道	カーブ	四輪車単独	◎	軽乗	-	-	-
4	6	5	29	13	水	昼	晴	気仙沼市松崎浦田	県道	直線	四輪対四輪	-	普乗	◎	◎	軽貨
5	6	7	11	15	木	昼	晴	大崎市岩出山	国道	直線	二輪車単独	◎	自二	-	-	-
6	6	8	2	11	金	昼	晴	栗原市志波姫	市道	直線	四輪車単独	◎	小特	-	-	-
7	6	8	19	10	月	昼	晴	仙台市青葉区角五郎	市道	交差点	人対四輪	-	軽貨	◎	◎	歩行者

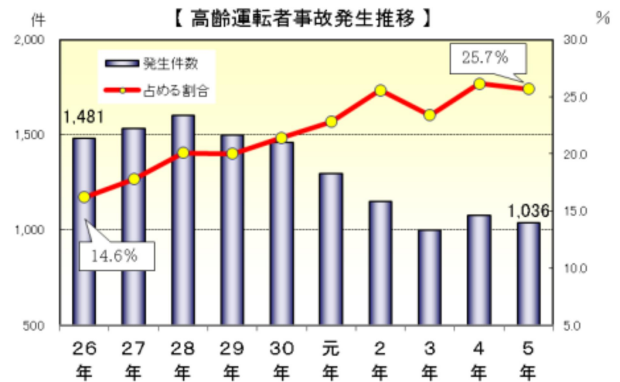
※は同乗者が死亡

2 高齢運転者事故の発生推移 (基礎データ平成26年～令和5年)

発生件数は、平成29年から減少傾向ですが、令和4年は増加、5年は減少しました。

全人身交通事故が10年間で55.9%減少（平成26年9,142件→令和5年4,033件。-5,109件）しているのに対し、高齢運転者事故は30.0%の減少（平成26年1,481件→令和5年1,036件。-445件）にとどまっています。

全人身交通事故に占める高齢運転者事故の割合は増減を繰り返しながら上昇傾向が続いていますが、令和5年は前年より減少しました。



区分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
交通事故発生件数	9,142	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033
高齢運転者事故件数	1,481	1,534	1,603	1,500	1,458	1,294	1,148	1,002	1,076	1,036
占める割合	16.2	17.8	20.1	20.0	21.4	22.8	25.6	23.4	26.1	25.7
死者数	24	21	17	17	16	12	14	13	13	14
負傷者数	1,850	1,931	2,014	1,811	1,752	1,565	1,402	1,148	1,271	1,247
死傷者数	1,874	1,952	2,031	1,828	1,768	1,577	1,416	1,161	1,284	1,261

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

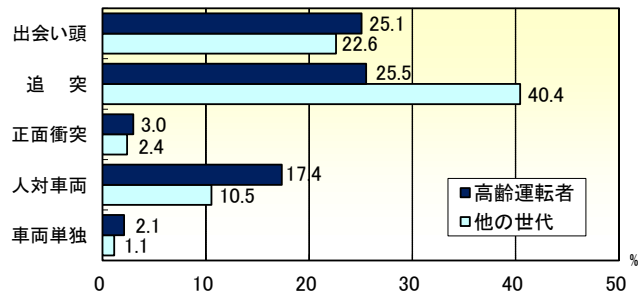
3 高齢運転者事故の発生特徴等 (基礎データ令和6年8月末速報値・第1当事者が一般原付以上の人身交通事故)

(1) 追突、出会い頭事故で約5割を占める

事故類型別では、追突の構成率が25.5% (674件中172件) と最も高くなっていますが、他の世代と比較すると低い割合となっています。次いで出会い頭事故の構成率が25.1% (169件) と高く、他の世代と比較して2.5ポイント高くなっています。

また、人対車両事故の構成率が17.4% (117件) で、他の世代と比較して特に高くなっています。

【事故類型別発生状況(構成率)】



(2) 交差点、駐車場等の構成率が他の世代より高い

道路形状別では、交差点の構成率が42.9% (674件中289件) で、他の世代と比較して3.6ポイント高くなっています。

また、店舗や病院の駐車場等「一般交通の用に供するその他の場所」の構成率が9.5% (64件) で、他の世代と比較して5.0ポイント高くなっています。

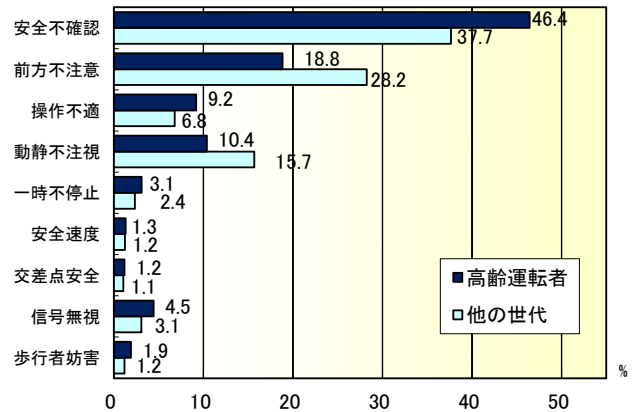
駐車場等での事故の行動別では、後退時が43.8% (64件中28件) で最も高くなっています。

なお、駐車場等でのアクセルとブレーキの踏み違いやギアの入れ違い等の操作不適による事故は7件発生しています。

【道路形状別発生状況(構成率)】

区分	交差点	交差点付近	直線	カーブ	駐車場等	その他	計
高齢運転者	42.9	14.4	31.5	1.8	9.5	0.0	100.0
他の世代	39.3	17.3	36.5	2.4	4.5	0.1	100.0
差	3.6	-2.9	-5.0	-0.6	5.0	-0.1	-

【違反別発生状況(構成率)】



(3) 安全不確認による事故が多い

違反別では、安全不確認が最も多く、構成率が46.4% (674件中313件) で、他の世代と比較して8.7ポイント高くなっています。

また、操作不適、信号無視の構成率が、他の世代と比較して特に高くなっています。

(4) 免許人口に対する事故率が高い (基礎データ令和元年~令和5年)

免許人口1万人当たりの、第1当事者(一般原付以上)の年代別死亡事故発生件数は、1年間当たり高齢運転者が0.34件で、全年代平均(0.28件)の1.21倍となりました。

特に、75歳以上の運転者は0.49件と、全年代平均の1.75倍、74歳以下の運転者(0.27件)の1.81倍に達しました。

【免許人口1万人当たりの死亡事故件数(令和元年~令和5年5年間)】

第1当年齢	免許人口	事故件数	免許人口1万人当たり(年に換算)	
			平均との差	同倍率
~24歳	105,041	27	0.51	1.82
25~29歳	97,065	11	0.23	0.82
30歳代	228,983	34	0.30	1.07
40歳代	300,563	37	0.25	0.89
50歳代	291,181	32	0.22	0.79
60~64歳	128,856	12	0.19	0.68
65~69歳	128,252	20	0.31	1.11
70~74歳	128,220	14	0.22	0.79
75歳~	131,425	32	0.49	1.75
(高齢運転者)	387,897	66	0.34	1.21
計(平均)	1,539,586	219	0.28	1.00

(件) 【免許人口1万人当たりの死亡事故件数】

